

条理ある疑いの彼方に (1956)

BEYOND A REASONABLE DOUBT

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 80分
初公開日 2000/09/02
公開情報 ケイブルホーク

【解説】

フリッツ・ラング監督のハリウッド時代最後の作品。作家のトムは死刑廃止論に興味を持ち、仲間のオースティンと組んである実験を行うことに。トム自身が未解決の殺人事件の容疑者となって無実の者が死刑にされることがあることを示そうというのだ。いよいよ逮捕されたトムの裁判が始まるが、その矢先彼が無実である証拠を持っていたオースティンが事故死してしまい、トムの計画は狂ってしまう……。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang	
製作	バート・E・フリードロブ	Bert E. Friedlob	
脚本	ダグラス・モロー	Douglas Morrow	
撮影	ウィリアム・スナイダー	William Snyder	
音楽	ハーシェル・バーク・ギルバート	Herschel Burke Gilbert	
出演	ダナ・アンドリュース	Dana Andrews	トム・ギャレット
	ジョーン・フォンテイン	Joan Fontaine	スーザン・スペンサー
	シドニー・ブラックマー	Sidney Blackmer	オースティン・スペンサーマー
	エド・ビンズ	Ed Binns	ケネディ
	フィリップ・ボーヌフ	Philip Bourneuf	トンプソン
	バーバラ・ニコルズ		ドリー